

KAKEHASHI Project 青少年派遣第8陣 3月4日出発

日本の大学生 263 名が米国各地で日本の魅力を発信

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、日本政府(外務省)が推進する"KAKEHASHI Project -The Bridge for Tomorrow-(北米地域との青少年交流)"の一環として、2013年度から2年間で計4,600名の日米間の青少年交流(日本人青少年の米国への派遣/米国人青少年の日本への招へい)を実施しています。



本事業の一環として、3月に日本各地から選抜された大学生、計263名を米国各地に派遣します。10日間の日程で、同世代の学生との交流や企業訪問を実施し、各訪問先において、それぞれの地域や分野における日本の魅力について、学生の視点からプレゼンテーションを行い、米国における日本への関心を高める機会とします。

■ 2015年3月実施分 日本人大学生 米国派遣 263名

派遣期間:3月4日(水)~3月14日(土)

大学生派遣事業 (郷土の文化や自然等を中心に日本の魅力を発信)

【参加校】: 大阪市立大学(大阪府)、京都産業大学(京都府)、静岡大学(静岡県)、広島大学(広島県)
桃山学院大学(大阪府)

学生クリエイター交流事業 (学生自身が制作した作品等を通じて、クールジャパンを発信)

【参加校】: 武蔵野美術大学(東京都)

科学技術分野学生派遣プログラム

(全国高等専門学校ロボットコンテストの成績優秀者が参加し、日本の科学技術の強みを発信)

【参加校】: 国立明石工業高等専門学校(兵庫県)、国立沖縄工業高等専門学校(沖縄県)

トモダチ・イノウエ・スカラーズ プログラム (故ダニエル・イノウエ上院議員の功績を記念して実施)

【参加校】: 上智大学(東京都)、昭和女子大学(東京都)、松山大学(愛媛県)、立命館大学(京都府)



"KAKEHASHI Project -The Bridge for Tomorrow-(北米地域との青少年交流)"により、昨年5月以降計2,208名の米国の中学生・高校生・大学生・若手研究者が来日し、計1,299名の日本の中学生・高校生・大学生、若手クリエイター、若手研究者が訪米しました。(写真は昨年11月に訪米した東京藝術大学 大学院美術研究科・音楽研究科(東京都)の交流先でのプレゼンテーションの様子)

活動の様子や、参加した学生たちの心に残ったエピソードや感謝の言葉などを国際交流基金 KAKEHASHI ウェブサイトに掲載しています。
<http://www.jpf.go.jp/j/intel/youth/index.html>

●主催者・本事業に関するお問い合わせ: 青少年交流室 (担当:大西、吉田)

Tel: 03-5369-6022 / E-mail: Makoto_Ohnishi@jpf.go.jp, Takeshi_Yoshida@jpf.go.jp

●取材に関するお問い合わせ: コミュニケーションセンター(担当:川久保、麦谷)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp